



電気事故防止のため、身近な配線・コンセントを確認してみましょう

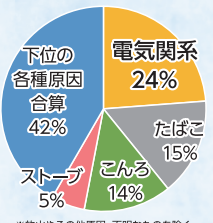
全国すべての火災における出火原因の約24%が電気関係です！

出火原因の上位には
たばこ・こんろ・ストーブ
といった生活に馴染みがある
ものが多いです。

中でも**電気関係***が原因での
出火は全体の約24%になります。

*電気関係とは電気に関わる原因を集計した数値となります
(内訳)電気機器、電気装置、電灯電話等の配線、配線器具

電気火災に該当するものは
・機器や配線等のコードからの出火
・コンセントやプラグからの出火
といった身近なものが原因です。



生活に欠かせない**電気**を
安全に利用していきましょう！

※放火やその他原因、不明なものを除く
出典元：総務省消防庁 消防統計(火災統計)
[令和2年(1~12月)における火災の状況(確定値)について]
数値を元にグラフを作成

今日から出来る 5つの要注意ポイント

ちなみに延長コードの寿命の
目安は約5年と言われています

- ① ケーブルの上に重いものを乗せない
- ② 傷んだり傷ついているものは使用しない
- ③ タコ足配線はしない
- ④ コードを束ねたまま使用しない
- ⑤ コンセントとプラグに埃を溜めない

電気的安全チェックリスト

- ① 自宅の分電盤に漏電遮断器がついている
- ② 分電盤に取り付ける感震装置や避雷器を知っている
- ③ エアコンや洗濯機等にアースがついている
- ④ タコ足配線をしている
- ⑤ コンセントの破損や差し込んだプラグにほこりがたまっている
- ⑥ コードを束ねて使っていたり、クギやステップルでとめている
- ⑦ めれた手でコンセントやスイッチに触っている
- ⑧ コードが家具の下敷きになっていたり、ドアに挟まっている
- ⑨ 変形したプラグやコンセントをそのまま使用している
- ⑩ 専門家でない方がコードとコードを接続したり、プラグやコンセントを自作している箇所がある

①~③は「○」が正解です。④~⑩は「×」が正解、NGな使い方です。電気的安全など詳しくご相談を希望される方はお近くの各都道府県電気工事(業)工業組合・電気工事店にお問い合わせください！

あなたの街の電気工事店

困った時に、お気軽にお近くの各都道府県電気工事(業)工業組合・電気工事店にご相談ください。

北海道電気工事工業組合 ☎ 011-261-0420	栃木県電気工事工業組合 ☎ 028-622-1931	三重県電気工事工業組合 ☎ 059-226-4862	香川県電気工事工業組合 ☎ 087-816-1433
青森県電気工事工業組合 ☎ 017-773-1935	群馬県電気工事工業組合 ☎ 027-251-5016	滋賀県電気工事工業組合 ☎ 077-562-2069	愛媛県電気工事工業組合 ☎ 089-931-3011
岩手県電気工事工業組合 ☎ 019-656-3255	埼玉県電気工事工業組合 ☎ 048-663-0242	京都府電気工事工業組合 ☎ 075-672-4311	徳島県電気工事工業組合 ☎ 088-622-7377
秋田県電気工事工業組合 ☎ 018-824-1587	千葉県電気工事工業組合 ☎ 043-224-6086	奈良県電気工事工業組合 ☎ 0742-33-4340	高知県電気工事工業組合 ☎ 088-832-7822
宮城県電気工事工業組合 ☎ 022-221-2676	東京都電気工事工業組合 ☎ 03-3542-7301	大阪府電気工事工業組合 ☎ 06-6371-6147	福岡県電気工事工業組合 ☎ 092-523-7747
山形県電気工事工業組合 ☎ 023-633-0161	神奈川県電気工事工業組合 ☎ 045-251-4671	和歌山県電気工事工業組合 ☎ 073-424-3292	佐賀県電気工事工業組合 ☎ 0952-31-2030
福島県電気工事工業組合 ☎ 024-535-0477	山梨県電気工事工業組合 ☎ 055-222-5711	兵庫県電気工事工業組合 ☎ 078-671-3903	長崎県電気工事工業組合 ☎ 095-862-1975
新潟県電気工事工業組合 ☎ 025-229-0101	静岡県電気工事工業組合 ☎ 055-922-1433	岡山県電気工事工業組合 ☎ 086-261-0900	大分県電気工事工業組合 ☎ 097-568-2146
富山県電気工事工業組合 ☎ 076-471-7551	静岡県電気工事工業組合 ☎ 054-288-1250	広島県電気工事工業組合 ☎ 082-241-1731	宮崎県電気工事工業組合 ☎ 0985-24-7388
石川県電気工事工業組合 ☎ 076-269-7880	愛知県電気工事工業組合 ☎ 052-971-7151	鳥取県電気工事工業組合 ☎ 0857-24-9213	熊本県電気工事工業組合 ☎ 096-382-2171
福井県電気工事工業組合 ☎ 0776-22-2903	長野県電気工事工業組合 ☎ 026-262-1493	島根県電気工事工業組合 ☎ 0852-21-7433	鹿児島県電気工事工業組合 ☎ 099-255-5507
茨城県電気工事工業組合 ☎ 029-252-3133	岐阜県電気工事工業組合 ☎ 058-263-2207	山口県電気工事工業組合 ☎ 083-921-0885	沖縄県電気工事工業組合 ☎ 098-943-0452

自宅の電気の安全・安心を点検しよう！



無資格の電気工事は危険ですので、必ず有資格者に相談しましょう



ちょっと待って、そのDIY！
自宅の電気の安全は大丈夫ですか？



壁や床の張り替えから、自宅のサイズにぴったりな家具を作ったりして、隔々までカスタマイズを行うDIY(製作・改造・修繕等)が、流行っています。ただし、ご自身のお宅であってもコンセントや照明などの電気系統に関わる部分は**国家資格の「電気工事士」**の資格が必要です!!(電気工事士法第3条)電気工事は、きちんと専門業者に工事を依頼しましょう。

NGな電気工事

- ▶ 電線の接続
- ▶ コンセントの増設
- ▶ 照明の配線工事
- ▶ スwitchの交換

簡単に言うと「天井や壁の中の隠れた配線」を触るのはNGです

どうしてダメなの？

電気材料や部品はホームセンターやネットで手軽に購入できます。動画やブログ等を真似すれば...と簡単そうに見えますが、電線等は種類も豊富で、接続時に感電の危険性もあります。それらを利用した作業は基本的には、電気工事士の資格が必要です。
無資格で電気工事を行い、機器の発火や火災・感電を起こしてしまったという事例や、問題発生後のやりなおしの工事依頼も後を絶ちません。せっかく自分で楽しくDIYしたのに、火事やケガなどの思わぬトラブルに繋がってしまう危険性があります。

DIYしたご自宅で安全に、快適に暮らすために
一度お近くの電気工事店にご相談ください！

ELECTRICITY USAGE SAFETY MONTH

電気使用安全月間



主催 経済産業省 主催 全日本電気工業業組合連合会 / 各ブロック組合連合会 / 各都道府県電気工事(業)工業組合
後援 消防庁 / 各都道府県 / NHK

ポイント2 災害時の安全対策をしましょう

① 日頃から災害に備えて準備をしましょう!

様々な災害を想定して、事前準備をしましょう。夜に災害が起こった場合を想定して、枕元に靴や懐中電灯があると、より一層安心できます。

- 事前準備リスト(例)
 - ・食料、飲料の備蓄
 - ・家具の置き方
 - ・非常用持ち出しバップの準備
 - ・避難場所や経路の確認
 - ・モバイルバッテリーの充電
 - ・家族間の安否確認の手段

② 避難する前にはブレーカーを切ろう!

地震が起こると火事の危険性が増します。電気の消し忘れや停電の復旧後を防ぐために、家を離れるときはブレーカーを切ってください。

地震が起こったら可能な限り、使用している電化製品のスイッチを切り、コンセントを抜きましょう。→感震ブレーカーの設置が非常に有効です。

③ 切れた電線には絶対触らないで!

電線に樹木や看板、アンテナなどが接触している場合も大変危険です。最寄りの電力会社に連絡してください。



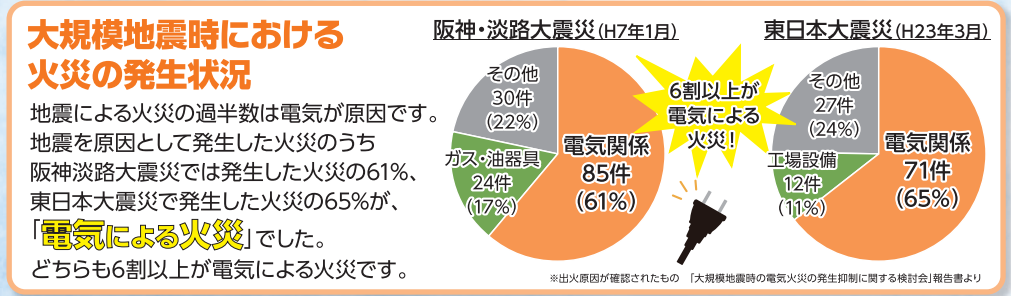
通電火災ってご存知ですか?

通電火災とは、大規模な地震などを伴う停電が復旧する際に発生する火災のことです。災害により損傷を受けた家屋内の電気配線、破損した電化製品、ストーブやアイロンといった発熱体を伴う電化製品にモノが接触している状態等により、停電から電気が復旧した際に発火することなどが原因となる火災のことです。

- (例) ●地震の揺れでカーテンや衣類が電気ストーブの上に覆いかぶさり、通電後に**出火!**
●建物の倒壊や家具の転倒で電気コードが損傷し、通電の瞬間にショートを起こし**出火!**

これらの可能性を減らすには感震装置(感震ブレーカー)による対策が非常に有効と言われています。自治体によっては取り付けの支援として、助成金などが設定されている場合があります。是非調べてみましょう!

感震ブレーカーは ①分電盤タイプ ②コンセントタイプ ③簡易タイプ と種類があるよ。次のページで、分電盤タイプの感震ブレーカーについて詳しく紹介をするよ!



ポイント3 住宅用分電盤で安全対策をしましょう

漏電遮断器(過電圧保護機能付)を取り付けていますか?

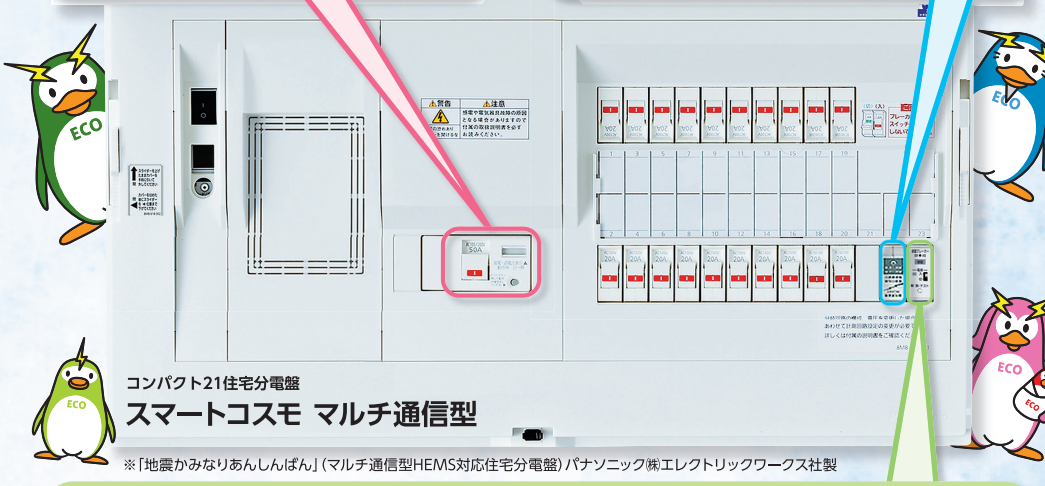
漏電遮断器は、火災や感電事故を防ぐとても大切な器具です。漏電遮断器は漏電を瞬時に感知して電気を止め、火災や感電事故から守ってくれます。漏電遮断器にはテストボタンが付いています。定期的に正しく動作するかチェックしましょう!

感電や電気火災の防止に有効です

避雷器の取付けをお奨めします!

雷によって雷サージ(電気系統などに異常に高い電圧が瞬間的に生じる現象)が発生すると、パソコンや家電製品などが故障することがあります。避雷器の付いた住宅用分電盤なら、雷サージをカットして、電気製品を守ります*。
*電話線、テレビアンテナから侵入してくる雷サージに対しては保護できません。

雷サージから家電製品を保護します



感震装置(感震ブレーカー)の取付けをお奨めします!

巨大地震が発生した場合の通電火災が危惧されています。その対策に有効とされているのが感震装置です。震度5強以上の地震が発生したとき、ランプ、ブザー、音声などで警報を発し、電気を安全に遮断します。

- 感震装置(感震ブレーカー)の主なはたらき
 - ①基本動作：地震検知後、3分が経過すると主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。
 - ②地震検知後、3分以内に停電が発生した場合：復電直後に主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。

感震装置(感震ブレーカー)については、内閣府・消防庁・経済産業省が連携し団を挙げて、普及啓発に取り組んでいます。特に「地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に取り組むべき地域(※1)」及び都市計画法に基づく「防火地域・準防火地域」における緊急的・重点的な感震ブレーカー等の普及が求められています。
電気需要場所における電気工作物の設計、施工、維持、検査の規範となる民間規格「内線規程」(※2)において、感震ブレーカーの設置が規定されております。その中で「地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に取り組むべき地域(※1)」及び都市計画法に基づく「防火地域・準防火地域」の住宅などに設置することを勧告し、それ以外のすべての地域の住宅などに設置することを推奨しています。
※1 内閣府ホームページでご確認ください。 <http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/denkikasaitaisaku/missyuu/index.html>
※2 省令を補完するために、(一社)日本電気協会によって編纂された規定で、電気工事者の施工マニュアルとして、組合に所属の電気工事業業者もこれに則り安全・安心な施工を行っております。

万一の地震時も、自動で電気を遮断します